

第98回ビジネス公開講座概要

テーマ:『「経営重心」で定量分析する電機業界』

講師:株式会社サークルクロスコーポレーション代表取締役主席アナリスト 若林秀樹氏

<日時・場所>

5月20日(水)18:30-20:15

名古屋校 E21 東京校 914教室

<内容>

1. 冒頭挨拶(石橋先生)
2. 講演(若林秀樹氏)

<参加者数>

名古屋 35名 (申込者数50名/当日欠席17名/当日参加2名) 70%

東京 12名 (申込者数16名/当日欠席5名/当日参加1名) 75%

参加者アンケート結果:回答者(名古屋 29名 東京 12名)計41名

質問1

今回の公開講座は有意義な内容でしたか?テーマや内容についてご意・ご感想をお書きください

	人数
とても有意義だった	20名
まあまあ有意義だった	20名
あまり有意義でなかった	0名
全く有意義でなかった	0名
無回答	1名

今までにない切り口「経営重心」が興味深かった。今後は視点を変えていきたい。

評価、分析の手法が新しく、驚きがあった。

経営重心理論を用いた企業分析は、今まで着目したことのない企業の見方だった。目からウロコが落ちる思いだ。

本で拝見するより内容を理解しやすかった。

自分の会社の経営重心を測定し、企業価値を考えてみたい。

非常にわかりやすく、経営重心について興味をもった。

経営重心の考え方など大変参考になったことを、今後の業務に役立てたい。

ボリュームのある情報量だったがロジカルに説明されていた。

現有する事業体系の特性を分類する考えと、基準を整理する導入部を見出せた。

統計学を学ぶ必要性を知ることができた。

経営判断や意思決定の判断材料として「統計」→「分析」→「選択と集中」(決断)のフローは仕事以外の面でも役立ちそう。

Diversity拡大、研究+マネジメントについて参考になった。(統研の話)

内容は難しかったので改めて復習したい。

当然かもしれないが、日常のビジネス(製造業)と整合した話だと感じた。大変貴重な機会となった。

途中、専門的な部分が理解できなかったが、経営重心の基本コンセプトは理解・納得できた。

話しのスピードが速く、独自の定義上の内容についていけない部分が多かったが、「経営重心」の理論の素晴らしさを感じた。

従事しているサービス業と理論とのつながりをもう少し理解できればよかったと感じる。

「経営重心」は初めての視点・考え方だったので非常に刺激的だった。特に企業・業界分析の主流の手法の中に埋もれている重要な要素があるのではという発想はとても参考になった。

本も読んでみたい。

自社とは分野外の話ではあったが、「経営重心」は参考になるので置き換えて考えてみたい。

「経営重心」は様々な業種に当てはめて考えられる。

戦略マップを定量化の方法で「見える化」した意義は、現下の環境では非常に大きいと思う。

電気機器メーカーの先行きが見えた。

切り口は非常によかったが、難しく理解し切れなかった。

独自の分析(アプローチ)がとても参考になった。

周期やボリュームゾーンで重心を探り、会社の性格に合っているかという考え方が興味深く面白い。

質問2 講義の資料の進め方、事務局の運営方法はいかがでしたでしょうか？（良い、問題なし以外）

無料でなくても良いので本を購入したかった。

資料が若干見づらく感じられた。

内容豊富だったので、時間を少し長くしてほしい。

詳細な資料なので役立つ。

資料はカラー印刷の方がより良い。

カメラワークが悪く見にくい。講師を中央に映してほしい(東京)

質問ができないのが残念。(東京)

スライド番号「35,36」に文字が見にくい箇所がある。

TVシステムでの講義は良くなかった。

質問3 今回の公開講座になぜ参加されましたか？（複数回答可）

	人数
今回のテーマに関心があるため	18名
教養として視野を広げるため	24名
大学や大学院で学ぶことに興味があるため	3名
MBAに関心があるため	3名
その他	1名

その他:M&A事業推進戦略について関心があるため

質問4 今回の公開講座を知ったきっかけを教えてください。

	人数
本学からのメール	17名
DMハガキ	3名
本学説明会	0名
資料請求時	0名
本学WEBサイト	17名
facebook	0名
交通広告	0名
知人の紹介	4名
その他	1名

その他:学部掲示板

